

# 第４回 長安口ダム改造事業費等監理委員会

## （３）平成２２・２３年度の実施概要

平成２３年８月

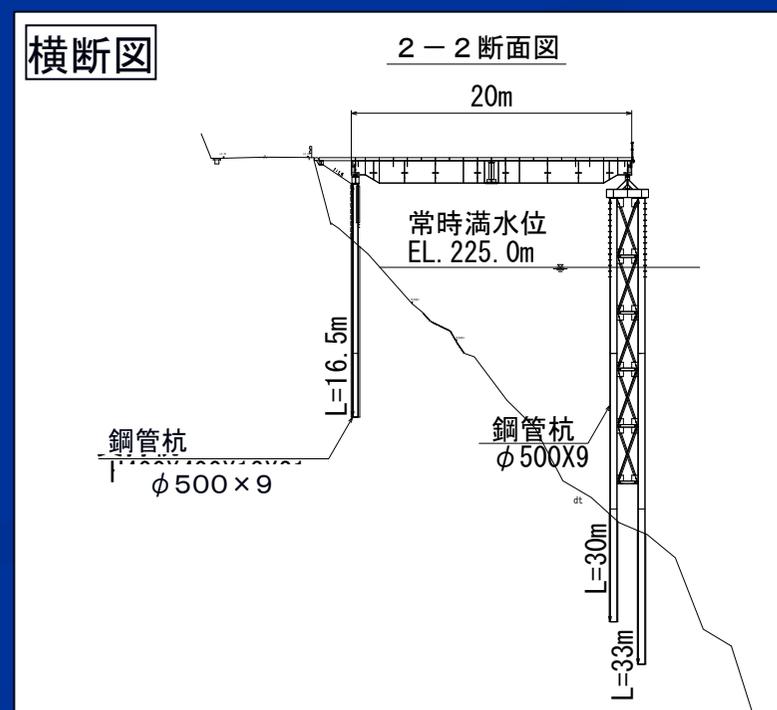
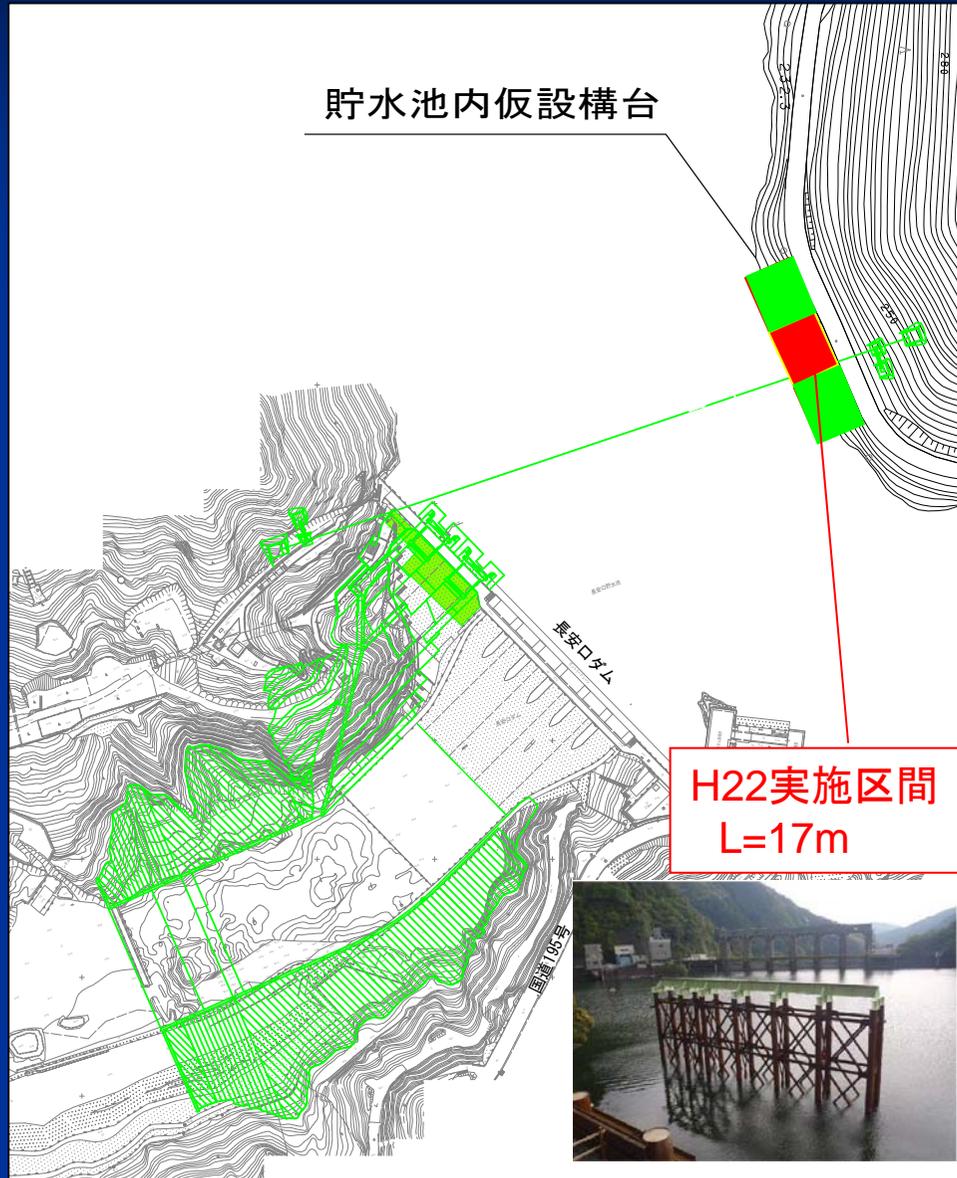
那賀川河川事務所

# 1. 平成22年度の実施内容

# ①貯水池内仮設構台設置

2. 平成22年度実施内容

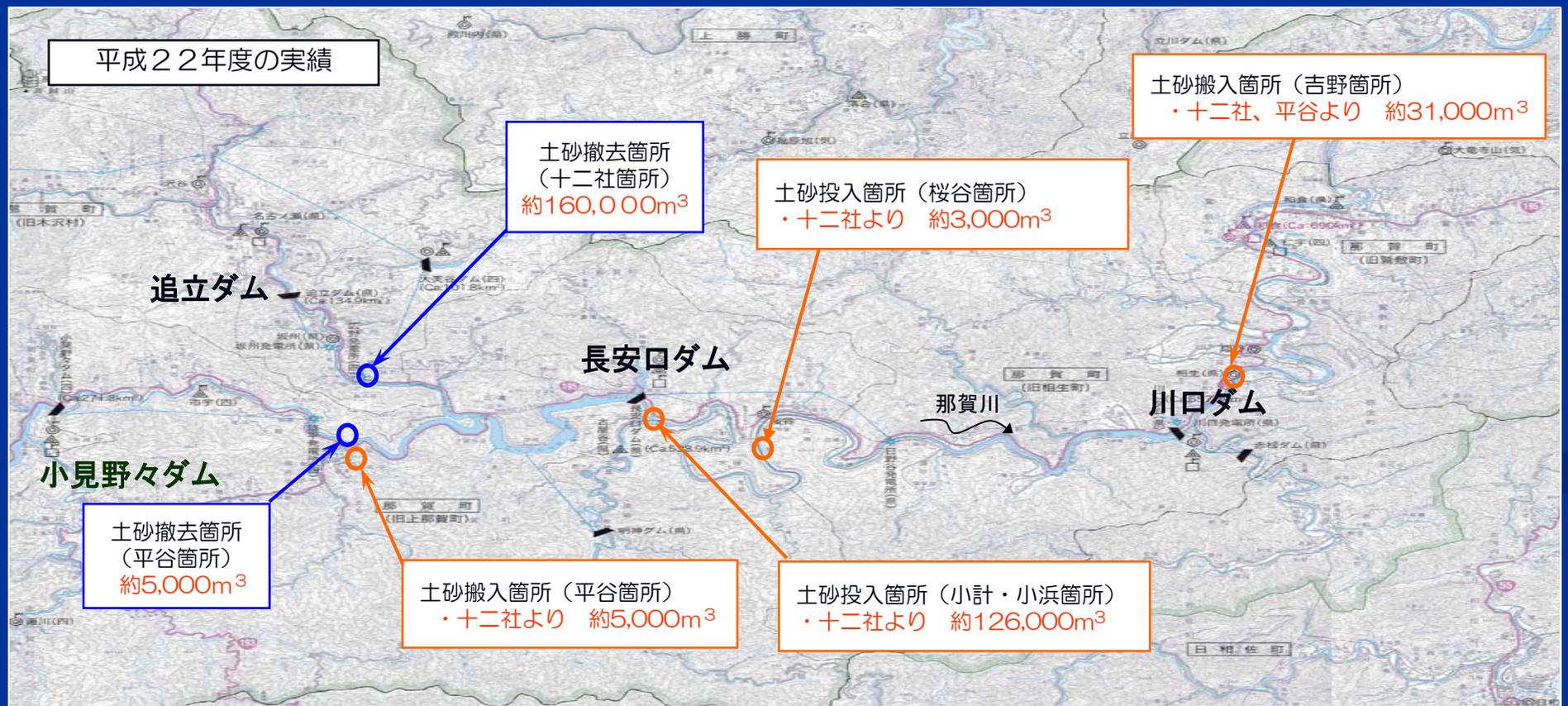
長安ロダムの改造工事の円滑な推進を図るため、工事に必要な作業ヤードとして仮設構台の設置に着手。



## ②土砂除去

### 2. 平成22年度実施内容

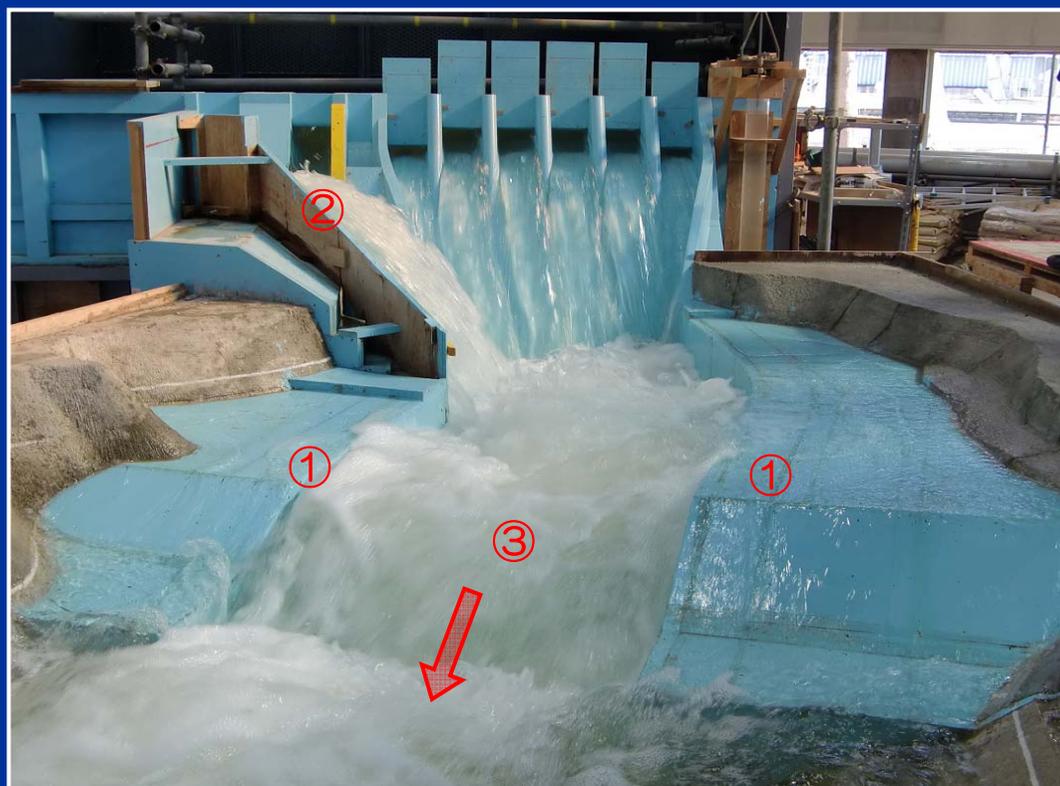
土砂流入による有効貯水容量の減少を防止する為、長安口ダム上流(十二社地区・平谷地区)での土砂除去を実施。



### ③施設改造設計(水理模型実験・施設改造設計)

・ダム基本設計会議で了承を得た基本構造を基に、以下の項目について水理模型による水理検討を行うとともに、施設改造設計を実施。

- ①減勢工の線形、壁高の検討
- ②導流壁高、デフレクター構造の検討
- ③副ダム高の検討 等



## ④環境影響モニタリング

環境検討委員会及び基本設計会議(環境部会)での意見等を踏まえ、工事工程にあわせたモニタリング調査及び保全措置の計画・検討を実施し、「長安口ダム環境モニタリング計画」を策定。

・植物調査  
【移植対象種・監視対象種】



・動物調査  
【猛禽類】



・動物調査  
【魚類・底生動物】



# 【長安ロダム環境モニタリング委員会】

- ・長安ロダム改造事業による環境への影響検討結果に基づき、環境保全措置及び環境配慮事項の具体的な手法に関して、事業者へ指導・助言を行うため、「長安ロダム環境モニタリング委員会」を平成23年3月に設立し、「長安ロダム環境モニタリング計画」を策定。
- ・工事工程に応じて、必要なモニタリング調査を行い、順応的管理を行うことで環境への影響の回避・低減を図ることとしている。



委員名*	職業
木下 覺	徳島県植物研究会 会長
小林 實	河川・溪流環境アドバイザー
佐藤 陽一	徳島県立博物館 自然課長
浜野 龍夫	徳島大学大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部 総合科学部社会創生学科 教授
森本 康滋	徳島県自然保護協会 会長
山田 量崇	徳島県立博物館 学芸員
山中 亮一	徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部 エコシステムデザイン部門 講師
湯城 豊勝	阿南工業高等専門学校 教授

\*五十音順(敬称略)

http://www.skr.mlit.go.jp/nakagawa/ - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(I) ツール(T) ヘルプ(H)

戻る(B) 進む(F) 検索(S) お気に入り(O)

アドレス(A) http://www.skr.mlit.go.jp/nakagawa/

移動(L) リンク(R) 変換(C) 選択

開催結果の公表状況

国土交通省 西四地方整備局 那賀川河川事務所

TOP

川の基本情報

那賀川・桑野川のアピール

長安ロダムの概要

事業概要

事務所案内

トピックス

流域イベント情報

メモリアルナカちゃん

那賀川倶楽部

ご意見・Q & A

リンク集

長安ロダムの改造

■長安ロダム環境委員会によりとりまとめた結果を踏まえて、植物の移植手法や動植物のモニタリング手法について、学識経験者の意見を聞きながら審議を行っています。  
第1回 2011年3月9日

第1回 2011年3月9日	
資料1	議事次第
資料2	長安ロダム環境モニタリング委員会 設立趣旨
資料3	委員名簿・配席図
資料4	長安ロダム環境モニタリング委員会規約
資料5	長安ロダム改造事業に係るモニタリング計画書(概要版)
資料6	長安ロダム改造事業に係る平成23年度モニタリング実施計画書(概要版)

議事概要

※議事概要及び会議資料については、「希少動植物の保護の観点」から一部非公開とします。

▲ up to page top

事業概要のトップへ

Copyright(C) 2002 Nagaagawa River Office, Ministry of Land, Infrastructure and Transport, Shikoku Regional Development Bureau

※推奨環境:Internet Explorer 6.0以降/ Firefox 2.0以降

(那賀川河川事務所HP)

# 【長安口ダム環境モニタリング委員会の進め方】

## ■ 委員会開催頻度・時期

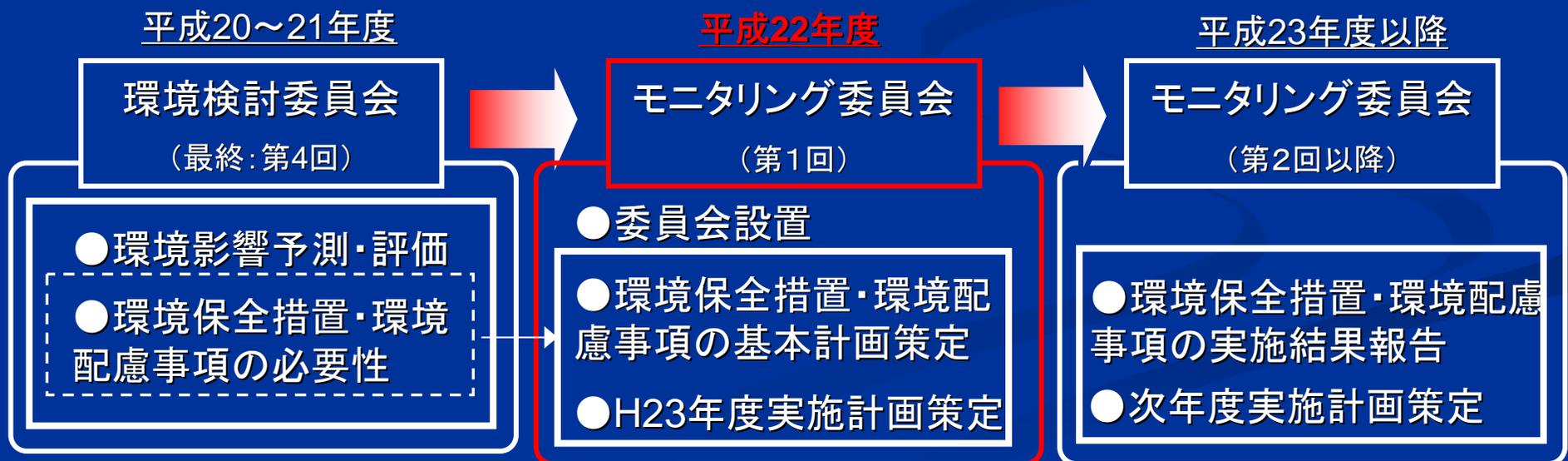
・年1回を基本とする。開催時期は2月～3月頃を予定としている。

・ただし、評価については調査毎に即時に実施するため、想定外の事態が確認された場合は、原因分析・対応策の実施・モニタリング計画・評価の視点の再検討について、臨機に委員の指導・助言を踏まえて速やかに行う。

## ■ 委員会の議事内容

・H22年度に、環境影響検討結果及び現在想定している工事実施手順に基づき作成した、モニタリング基本計画及びH23年度実施計画について指導・助言を頂き、策定した。

・H23年度以降は、その年の実施結果の報告と、基本計画及び次年度の工事実施手順を踏まえて作成した、次年度実施計画について指導・助言を頂くこととしている。



# 【長安口ダム環境モニタリング計画】

モニタリング調査は、長安口ダム改造事業による環境への影響が回避・低減されているかを把握することを目的として、下記の3つの視点に基づき実施する。

- ①環境保全措置の効果を把握するための調査
- ②工事中の環境配慮として実施する調査
- ③事業完了後の環境変化を把握するための調査

## 環境要素毎のモニタリング調査方針

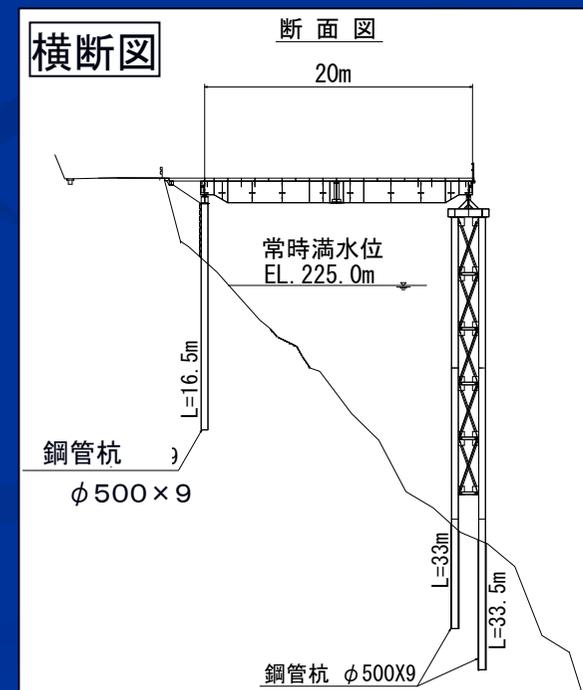
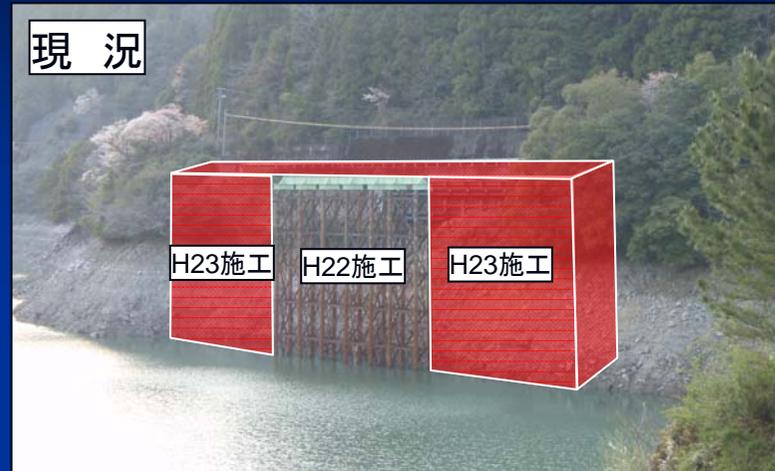
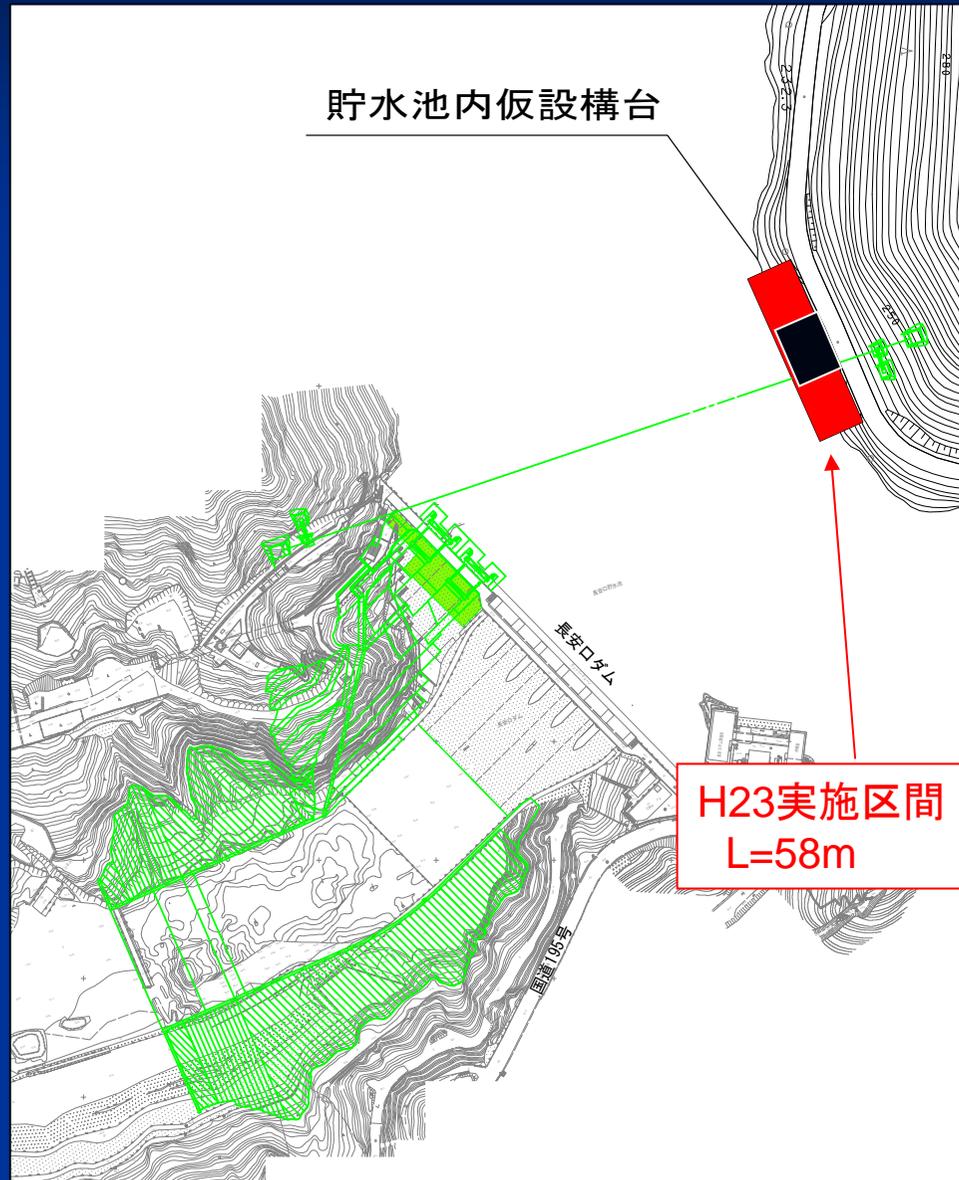
環境要素	対象項目	調査目的			モニタリング調査方針
		①	②	③	
大気環境	騒音、振動		○		工事に伴う騒音・振動の監視
水環境	貯水池、流入・下流河川の水質変化		○	○	水質への影響の監視 選択取水設備運用に伴う下流河川における「冷水放流」や「濁水長期化」に対する改善効果の把握
植物	ナンゴクウラシマソウ	○	○		移植後の生育状況の監視 変更部付近の個体の生育状況の監視
	ラン科の種A	○			移植後の生育状況の監視
	ラン科の種B	○			移植後の生育状況の監視
	ハルノタムラソウ	○			変更部付近の個体の生育状況の監視
	ナカガワノギク		○		ダム下流河川の個体群の監視
生態系	上位性:オオタカ、サシバ		○		生息状況・繁殖状況の把握 騒音及び騒音に関連する行動の把握
	典型性:下流河川の魚類等			○	選択取水設備設置後の魚類等の生息状況の把握
			○		工事中(異常時)の生物への影響の監視

## 2. 平成23年度の実施予定

# ①貯水池内仮設構台設置

3. 平成23年度実施内容

平成22年度に引き続き、工事に必要な作業ヤードとして仮設構台の設置を実施し、完成させる。



## ②工事用道路設置

減勢工の施工に必要な工事用道路設置に着手する。



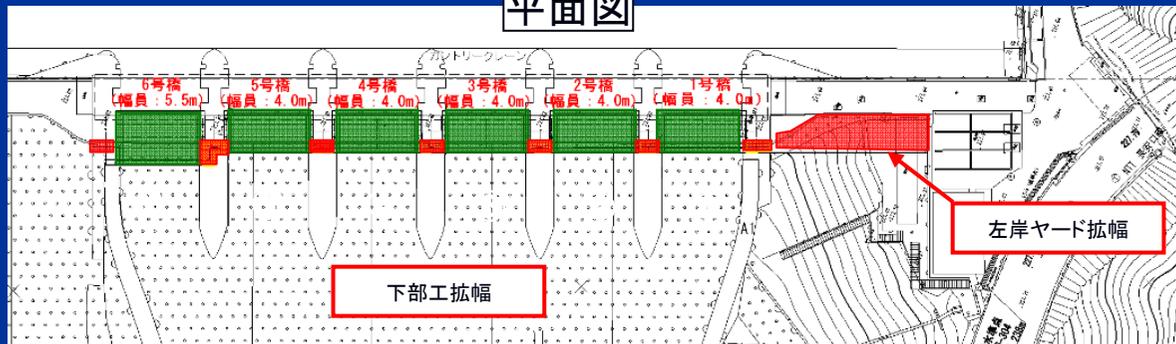
# ③ダム天端橋梁改良

3. 平成23年度実施内容

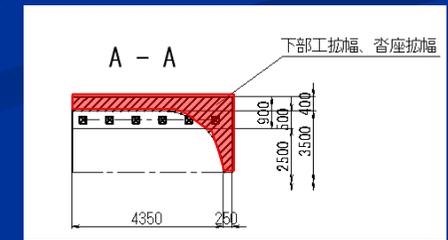
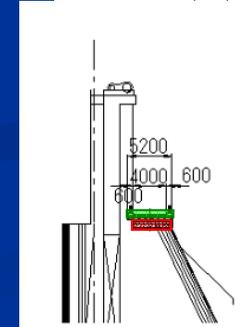
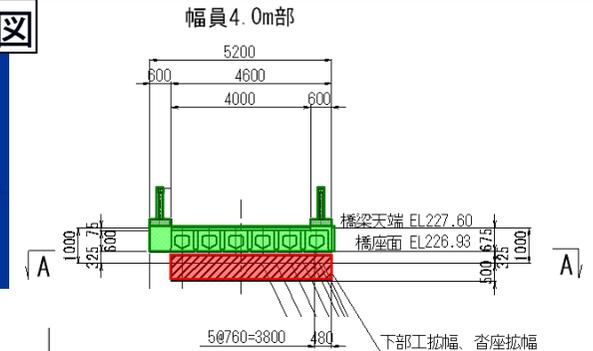
新設ゲートの維持管理に必要なクレーン走行規格を確保するため橋梁(下部工拡幅)及び左岸ヤードの拡幅をする。



平面図

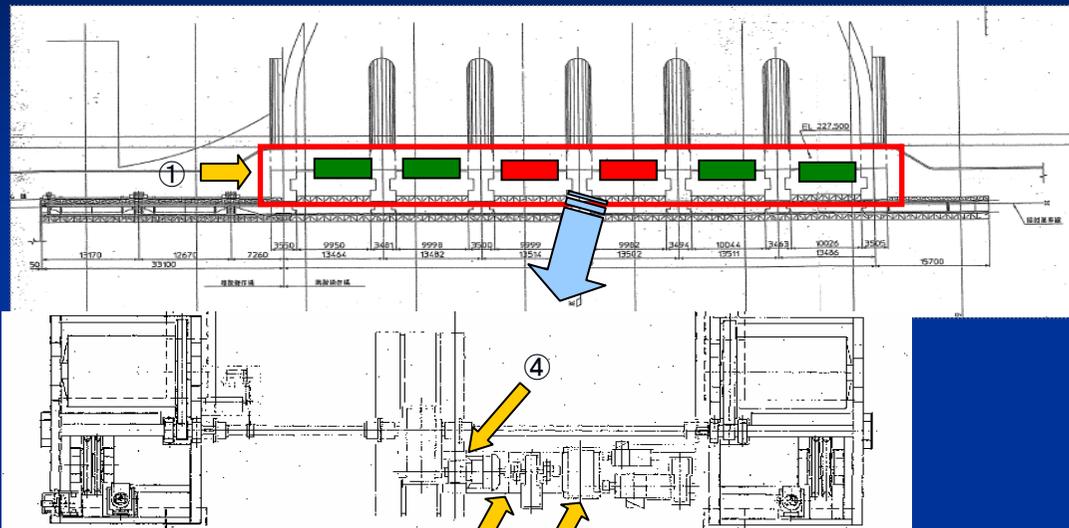


断面図



# ④既設クレストゲート改良

河川管理施設等構造令に基づくゲート下端のクリアランス確保を図るため、揚程不足の解消を目的としたクレストゲート開閉装置の改良を実施する。



【開閉装置全景】



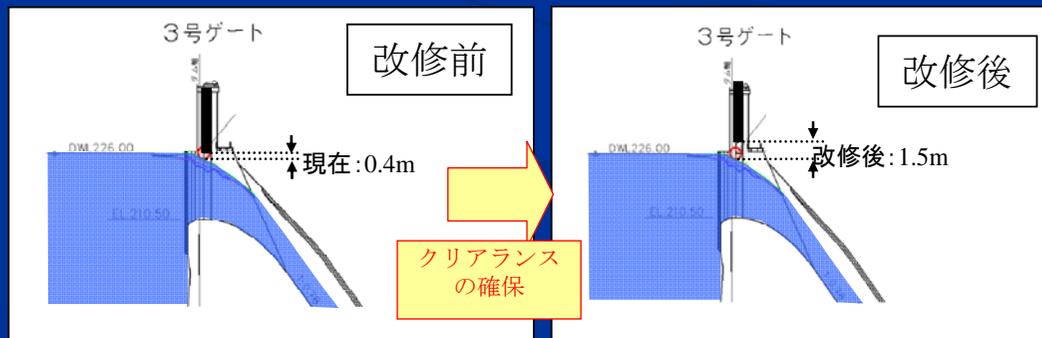
【手動式切換装置】



【油圧押し上ブレーキの劣化】

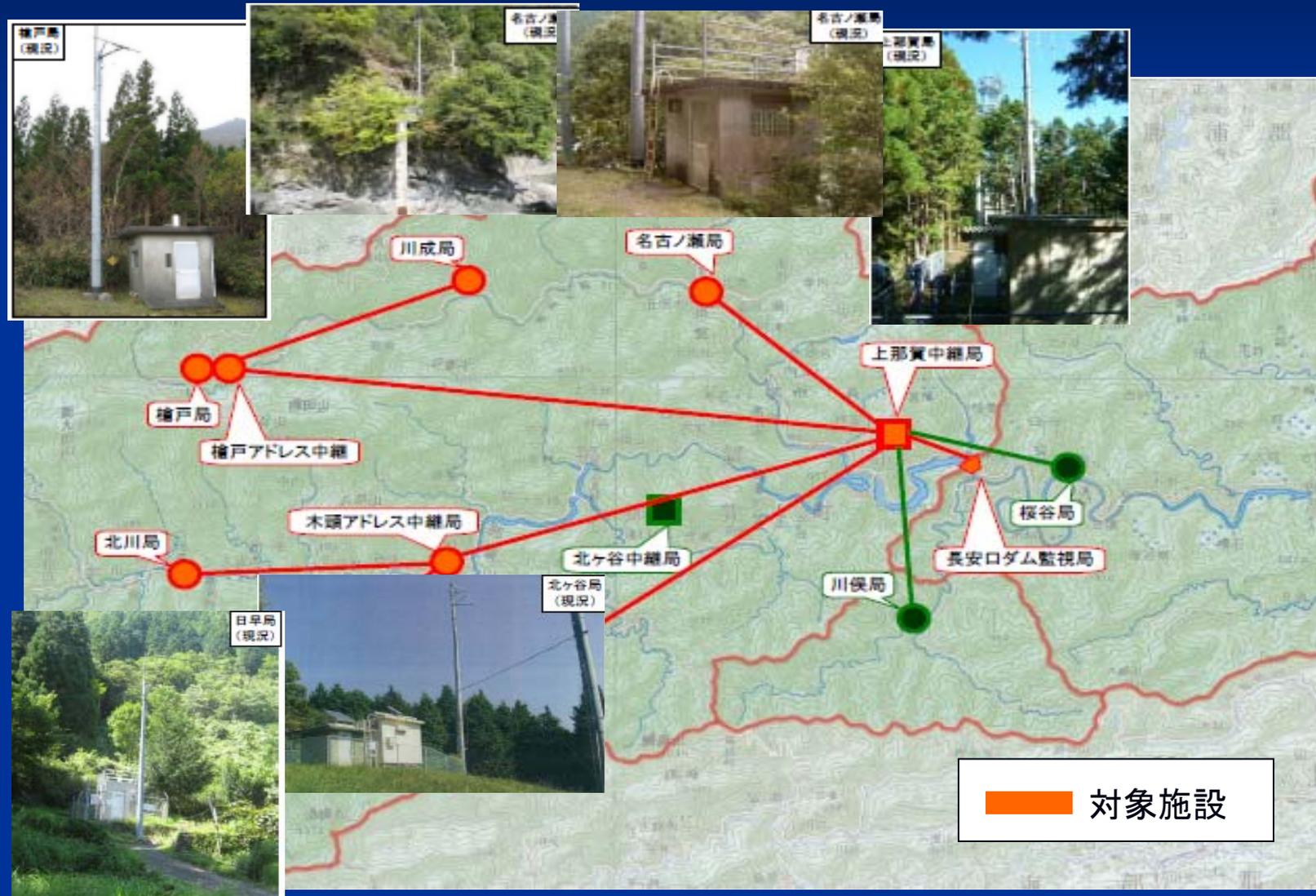


【カップリング部の塗装の劣化】



# ⑤テレメータ設備改良

適切なダム管理を行う上で重要となる雨量データの確実な取得を図るため、ダム上流域における雨量テレメータ設備の改良を行う。



テレメータ設備改良計画

# ⑥土砂除去

3. 平成23年度実施内容

土砂流入による有効貯水容量の減少を防止する為、引き続き、長安口ダム上流において土砂除去を行う。



## ⑦施設改造設計(水理模型実験・施設改造設計)

3. 平成23年度実施内容

前年度迄の施設改造設計の成果を踏まえ、以下の項目について水理模型による水理検討を行うとともに、施設改造設計を実施。

①減勢工形状の検討(越流水の処理方法)

②減勢工施工計画及び仮設構造物検討

※放流を行いながらの施工に対する施工手順や仮設構造物等の検討



## ⑧環境影響モニタリング

3. 平成23年度実施内容

平成22年度に策定した「長安ロダム環境モニタリング計画」に基づき、工事工程に準じたモニタリング調査及び環境保全措置を実施する。

・植物調査  
【移植対象種・監視対象種】



・動物調査  
【猛禽類】



・動物調査  
【魚類・底生動物】

